

改めまして、つき組へようこそ

名島保育園は、「モンテッソーリ教育」を基に保育を行っています。「モンテッソーリ教育」って何だろう？という疑問に一言でお答えすることは、難しいのですが、大切にしている言葉のいくつかをご紹介します。

「自分でできるように」

手伝ってください

大人から見ると、子どもの行動やこだわりは謎だらけ。でも、それらは、からだやこころの成長に係っているのだと、今から100年くらい前に、イタリアの女性医師、マリア・モンテッソーリは発見したのです。0〜6歳には、さまざまな発達段階があって、子どもは、そのときどきに必要な課題に取り組んでいるのだ、と。

モンテッソーリによる、子どもとの接し方を知ると、大人は、気持ちがラクになると言われています。目の前の子どもが何をしていたがっているのかがわかり、わ

が子の成長を心から楽しめるようになるからです。

幼い子ども達の毎日は、ひとつずつでできるが増えていく日々です。「ひとりできたー」という喜びの機会をたくさん作ってあげたいですよ。

(クローヨン「モンテッソーリの子育て」より)

環境を整えると、この「ひとりできた」が、たくさん増えます！

環境と「吸収する精神」

0〜3歳前後、子どもは環境にあるものすべてをスポンジのように吸収します。

つまり、子どもに環境はとても大事！

子ども向きに整理された環境は、衣類の着脱や排泄が単純化され、すぐに使いたい玩具や本に手が届き、自分でやりたいときに、すぐに子どもの欲求に応えられます。すると、家族みんなにとって、より楽しく、平和な暮らしができるのです。

4つのコーナー

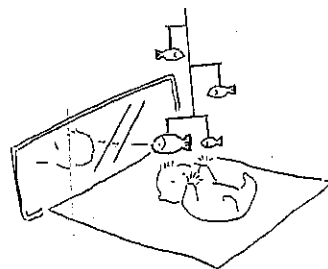
① オムツや衣服を着替えるコーナー



② 寝る場所



③ 運動するコーナー



④ 授乳のコーナー (食事の場所)



小さい子どもはいつも同じである事を求めます。同じであると、安定し、生き生きします。

慣れ、成長すると、その場所では、自然と子ども自身が眠り、食事、運動するようになります。おうちでも、お困りの点が減るかもしれません。